

# チャンス・チャレンジ・チェンジ



秋田県立支援学校天王みどり学園 加賀谷 勝

## わかってほしい!白杖で音を立てる理由



新聞の投書欄に寄せられた視覚障害者が使う「白杖」に関する投稿がネットで話題になっている。

### 〈概要〉

・8月のある日、埼玉県内のJR駅で、年配の男性が振り向きざま、白杖で点字ブロックを叩きながら歩く女性に、「うるさいよ!」と怒鳴りつけた。女性は体を震わせながら「すみません」と謝り、白杖で点字ブロックをなでるように歩き出した。

### 〈白杖を携帯する理由〉

- 1 安全性の確保 2 情報の入手 3 視覚障害者としてシンボル

- ・白杖を使って音を出すことで、自分の存在を知ってもらうだけでなく、その反響音で周囲の状況を確認する目的もある。最近はスマホや携帯電話などで前を確認しないで歩く人が増えているため、あえて白杖を使って音を出すケースも増えている。「音をたてるな」と言われると、視覚障害者は恐怖を感じるに違いない。私たちは必要だから音を立てていることを理解しなければならない。
- ・これらは全て「知らない」ために起きる。視覚障害者のこと（盲導犬や点字ブロックの意味、白杖で音を出す理由等）を知ってもらうために、リーフレットやポスターを作成したり、マスコミで取り上げたりして周知を図る。多数派の人は少数派の人の大切なことや困っていることが見えなくなるので、お互いの多様性を認め合い、助け合いながら付き合うことが求められている。

### 〈外で障害者と関わるポイント〉

- 1 気付く（何かに困っている人に気付く）
- 2 声を掛ける（「何かお手伝いすることはありますか」）
- 3 断られてもがっかりしない（一人でできることもある 思いやりは伝わる）
- 4 聞く（実際にしてほしいことを尋ねる）
- 5 無理はしない（周りの人に声を掛けて一緒に関わる）



## 人は知識だけでは動かない!

- ・電車で座っている際、お年寄りが乗ってきたとき
  - 1 席を譲らないといけないと考えて席を譲る
  - 2 お年寄りが立っているには辛いだろうと相手の気持ちを考えて席を譲る
  - 3 周囲の目が気になって席を譲れなくて「悪いことをしてしまった」と罪悪感を感じる
  - 4 全く何も感じない

思いやりのある人は2であるが、3も同じくらい思いやりがあるといえる。席を譲らなければならないという知識はみんなもっている。しかし、知識だけで人は動かない。誰かから「思いやられた」という経験が必要である。友達におもちゃを貸せる子どもにするためには、子ども自身が貸してあげたいと思える経験をしなければ行動に結び付かない。知識ではなく相手の情動を感じて行動できる子どもを育てたい。